

法第43条建築許可申請添付書類

提出部数 1部 (0.1ha未満 申請手数料6,900円【納入通知書】)

申請書(省令別記第九)	<ul style="list-style-type: none"> ・市長名「村田 悠」を明示。 ・所在、地番は登記簿謄本による(2筆以上は全筆明示) ・地目は、公簿地目 ・面積は、実測面積 ・該当条項号、理由 (例) 令第36条第1項第3号ホ(既存宅地の確認を受けた土地)/法第34条第1号[令第36条第1項第3号イ](日用品店舗) 	
敷地概要書(規則様式19号)		
理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・属人性を有するものや許可要件にやむを得ない事情(理由)が規定されている場合 	
農地転用許可申請関係	農地転用が必要な場合	農地転用許可申請中の証明書又は受付印を押した申請書の写しを添付
土地登記簿謄本	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以内のもの(全部事項証明書) ・線引後、建築物の建築後又は既存宅地確認後に分合筆がある場合は、関係する複数の謄本や閉鎖謄本も必要な場合あり 	
住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・分家住宅の場合は申請者世帯、本家世帯、申請者の両親世帯 ・土地登記簿謄本記載の住所が現在の住所と相違している場合 	
戸籍謄本	分家住宅の場合	・申請者、本家の謄本
資産のないことの証明		・申請者世帯(子が成人していれば子も必要)、本家世帯
固定資産名寄台帳		・申請者世帯(子が成人していれば子も必要)、本家世帯
土地選定理由書		・別添として、住宅地図又は都市計画図(白図)に所在を示す(固定資産名寄台帳と整合)
土地使用承諾書	<ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者と申請者が同一でない場合(土地売買契約書の写しでも可) ・分家住宅の場合、本家より相続もしくは贈与を受けることを明示(自署又は記名実印) 	
連たん状況	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地図又は都市計画図(白図)にて連たん状況を明示 ・最も距離が離れている箇所に距離を明示 	
都市計画法の許可書等 建築基準法の検査済証等	既存建築物の建替えの場合	・既存建築物の適法性を証明するために添付
位置図	<ul style="list-style-type: none"> ・1/2500の地図に、申請地の範囲(色枠明示)、方位、縮尺、作成者を明示 	
公図写	<ul style="list-style-type: none"> ・法務局備付のものを転写し、字界、小字、地番、転写年月日、作成者、方位、縮尺を明示 ・字界で隣接地の公図が切れてしまう場合は、そちらの公図も添付 ・申請地を色枠で囲み、公共施設に着色(赤道—赤、水路—青 等) 	
現況図	<ul style="list-style-type: none"> ・申請地及び周辺の状況がわかるように地盤高を明示 ・方位、縮尺、作成者を明示。 ・石積み・見切り等の工作物、道水路等の公共施設の位置、名称、幅員等を明示 ・申請地を色枠で囲み、境界線を明示(対側の境界線も線及び文言で明示) ・既存建築物がある場合は、既存建築物の用途・構造を明示(除却予定の建築物は、除却予定と明示) ・写真撮影方向を明示(2方向以上) 	
配置図	<ul style="list-style-type: none"> ・申請地及び周辺の状況がわかるように地盤高を明示 ・方位、縮尺、作成者を明示 ・石積み・見切り等の工作物、道水路等の公共施設の位置、名称、幅員等を明示 ・申請地を色枠で囲み、境界線を明示(対側の境界線も線及び文言で明示) ・排水経路を示すこと(占用許可(受付)番号、占用許可(申請)年月日の明示) ・申請建築物の用途、構造、階数、建築面積、床面積、建蔽率、容積率、算式(計算の根拠)を明示 ・既存建築物の建替の場合、新旧対照表を倍率がわかる形で明示 ※下記参照 ・敷地縦横断は、申請建築物上で切る。また、切土・盛土がある場合には、最大値の部分も切る。 ・建築基準法第43条第2項(認定又は許可)や道路工事承認を必要とする場合は、その旨を明示 ・切土・盛土がある場合は切土(黄色)、盛土(赤色)で色分け ・申請敷地に切盛がある場合、切盛の求積を明示 ・敷地内に残す建築物がある場合は、残る建築物の適法性を明示 	
敷地縦横断面図	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物位置、建築物用途、構造、階数、造成の有無、道路、各境界線を明示 ・切土・盛土がある場合は、最大値を明示し、色分け ・配置図と整合性のある地盤高を数カ所明示 	
建築物平面図・立面図	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、縮尺、作成者を明示 ・立面図は、2方向以上、最高の高さを明示 ・建築面積・延床面積算出の計算式を明示 	
敷地求積図	<ul style="list-style-type: none"> ・小数点以下第2位まで求めること。また、各辺には辺長を明示(外周辺含む) ・道路後退がある場合は、申請地と区別して求積 	
写真・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤の状況、接道部分、申請地境界等がわかる形で写真(2方向以上)を添付し、申請区域を色枠で囲む。 ・各図面は縮尺1/250以上とし、範囲、方位、縮尺、作成者を明示 ・土地登記簿、証明書等は3ヶ月以内のものを添付 	

※確約書関係は自署もしくは記名実印とする。

新旧対照表

	用途	構造	敷地面積	建築面積	延床面積	建ぺい率	容積率
新		造 階建	m ²	m ²	m ²	%	%
旧		造 階建	m ²	m ²	m ²	%	%
倍率	—	—	—	—	—	—	—